

外国語（英語）

東開学三教光啓
京隆校省育村林
書隆図出図
籍堂書堂版書館

令和元年度

中高・飯水地区小中学校教科用図書採択研究協議会

(種目：外国語)

採択基準	発行者名 東京書籍 (NEW HORIZON Elementary English Course 5,6, Picture Dictionary)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 学習の流れが「聞く」「話す」(音声) から「読む」「書く」(文字) の活動へ展開するように内容が構成され、実際のコミュニケーションに必要な基礎的な技能を習得しやすいように配慮されている。・ 言語活動の目的や場面を明確にすることで、単元の目標が達成できるよう学習過程が工夫されている。・ 背景となる文化や場面が分かる写真が掲載され、主体的にコミュニケーションを図ろうとする意識が生じるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 使用する語や表現の量や難易度が、発達段階に応じて考慮され、学習が無理なく進められるように工夫されている。(2) 2～3の単元を学習した所で、そこまでの既習事項を用いて自分の考えや気持ちを表現するように内容構成が配慮されている。(3) 日常生活に関係する身近な話題から「地球に暮らす生き物」や「世界のつながり」などの社会的な話題まで、様々な話題をとりあげ、児童の興味・関心が高まるように工夫されている。(4) 「聞く」「話す」活動から始まり既習事項を活用しながら「読む」「書く」活動に発展させて学習ができるように配慮されている。(5) やり取りや発表の活動の進め方の手順が一目で分かるように示され、どの語や文を入れ替えると自分の英文になるのか視覚的に分かり活動の見通しをもてるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 2～3の単元で学習したことを使って、自分の考えを表現し、発表する活動が年間に3つ設定され、既習事項の活用について繰り返し指導できるように工夫されている。(2) 言語活動に必要な語彙や表現を、理解し練習し組み合わせる活動できるように、言語材料が各パートに適切に配列されている。(3) 学習した語や表現が別冊の「Picture Dictionary」にまとめられており、言語活動の際、どの語や表現を使えばよいか、主体的に選ぶことができるように工夫されている。(4) 単元のまとめでは、目的意識や相手意識をもって、考えを伝え合ったり、発表したりすることができるように配慮されている。(5) 活動に用いる語が文字として表記される際に、その語の表す意味が理解できるように、絵が添えられている。(6) 5、6年の各単元の目標や、文字と音についての目標が「Picture Dictionary」の巻末にまとめられており、児童が目標は達成されたのか、自己評価ができるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ 2～3の単元ごとのまとめに位置付けている「Check Your Steps」では、児童が既習事項を活用し、見通しをもちながら主体的に活動に取り組むことができるよう工夫されている。・ 言語活動の際に使う語や表現が別冊の「Picture Dictionary」にまとめられており、児童が主体的に言語材料を選択できるように工夫されている。

(種目：外国語)

採択基準	発行者名 開隆堂 (Junior Sunshine)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 単元前半では聞く活動が繰り返され、後半では話す活動を通して、児童がスモールステップで表現を習得できるよう工夫されている。・ 単元の目標が導入のページで明記され、活動の見通しをもって取り組めるよう工夫されている。・ 日本と外国の違いを考えたり、日本のことを英語で紹介する活動を取り入れたりするなど児童が文化の違いに気づけるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等)	<ol style="list-style-type: none">(1) 3、4年生の外国語活動で取り組んだ活動を生かして、発達段階に応じて繰り返し学習できるよう配慮されている。(2) 表現に慣れ親しむ活動を繰り返し行い、複数の単元を学習した後に、自分の考えを紹介したり友達とのやり取りを楽しんだりする「Project」が位置付けられている。(3) 単元で扱う題材が四季の行事や学校生活に沿うように配列されており、児童が主体的に取り組めるよう工夫されている。(4) 単元の最後には慣れ親しんできた表現を活用できるコミュニケーション活動が設定されている。また、単元で学習した単語を使って書く活動に取り組めるよう工夫されている。(5) イラストや写真、ピクトグラムを取り入れて、児童が文字の意味を推測しやすくするよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none">(1) 児童の生活に即した場面や状況などで単元の構成が工夫され、身につける表現がどのような場面で使われるのかイメージがしやすくなるよう配慮されている。(2) 音声で慣れ親しんだ表現を書く活動がスモールステップで取り入れられ、文字の学習が段階的に進むよう工夫されている。(3) 文字に慣れる学習が巻末に位置付けられ、単元のゴールで行う活動につながるよう工夫されている。(4) 単元の導入で、その単元で学習する表現を聞くことで、場面を想像し、単元のゴールをイメージできるようになっており、目的をもって言語活動が行えるよう設計されている。(5) 活動に用いる表現が文字で表記され、青色の下線部を入れ替えると活動に取り組めるよう配慮されている。(6) 一つ一つの活動を振り返るリストが設けられ、児童の到達度を把握できるように工夫されている。また、単元の最終ページにも目標に沿って簡単に振り返られるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ どの単元でも外国語活動で慣れ親しんできた活動やチャンツが取り入れられ、学年が上がっても児童が抵抗なく学習できるよう工夫されている。・ 単元のゴールに向けて、音声で慣れ親しんできた表現を用いて読んだり、書いたりする活動が設定され、文字に対する抵抗感が少なくなるよう配慮されている。

(種目：外国語)

発行者名 採択基準	学校図書 (JUNIOR TOTAL ENGLISH 1・2)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 前学年、前単元までの既習事項を生かして、4技能5領域の活動がバランスよく繰り返されるように構成されている。・ 身近な話題や日常の場面が設定され、その状況や場面に応じて、互いの気持ちを伝え合うことができるように工夫されている。・ 様々な国の文化について学んだり、他教科との関連を図ったりすることで、英語を使う学習の意欲が高まるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 発達段階に合わせた身近な場面が設定され補助的に日本語表記もあることで状況や内容が理解しやすいように配慮されている。(2) 各単元に「Small Talk」のコーナーが設けられ、音声で十分慣れ親しんだ内容を使って答えたり、既習表現を生かしたりしながら話す活動へ発展させていけるように構成が配慮されている。(3) 聞く活動の多くで自分の気持ちや考えと重ね合わせる問いかけがあり、児童自身の情報のやり取りを促すように工夫されている。(4) 各単元末に、既習表現を用いたストーリーを聞き、場面や内容を想像しながら、英文を読む活動があり、音声と文字を関連付けた学習ができるように配慮されている。(5) 英文を書き写す活動では、場面がイラストで示され、意味を想像しながら、取り組めるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 「Word Corner」では、前後の単元と関連のある語彙を繰り返し扱い、基本的な語彙の習得ができるように工夫されている。(2) 音声で十分に慣れ親しませるため、キーセンテンスを聞いた回数を記録し、繰り返し聞けるようにしたり、聞くときの観点を変えて複数回聞いたりできるように工夫されている。(3) 各単元の導入で「レッスンの目標」を設けてゴールを明確にし、単元の終末では目標に基づく振り返り「Check Time」を設け、単元を通してゴールに向かって取り組めるように工夫されている。(4) 年間2回の「Project Time」で既習事項を生かした発展的な言語活動を行い、コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて、思考、判断、表現する取り組みができるように配慮されている。(5) 各単元末の「Use&Check」では、単元のために関連した問題が設定され、例文やイラストを参考にしながら、4技能をバランスよく取り入れた活動ができるように配慮されている。(6) 単元末では、資質・能力に基づいた自己評価、感想やこれからの目標等の記述を通して、児童の到達度を把握することができる。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ 各単元の冒頭に「つける力」が示され、15分単位で活動ができる構成になっており、指示も分かりやすく明確なため、短時間学習でも、授業がしやすいように配慮されている。・ 前学年や前後の単元とつながる内容が扱われており、既習の知識や言語材料を生かすことで、児童の負担が少なく取り組めるように構成されている。

(種目：外国語)

発行者名 採択基準	三省堂 (CROWN Jr.)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">身近な場面設定で、「聞くこと」から「話すこと」「読むこと」「書くこと」へと言語活動を通して、既習事項が活用できるよう配慮されている。繰り返し語彙や表現に触れ、十分に慣れ親しんだ後、それらを児童の思考に応じて言語活動ができるよう工夫されている。分かりやすく伝えること、会話を続ける工夫などが扱われ、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 無理なく学習ができるように、日本語による説明文が端的で、使用する英語の分量が配慮されている。(2) 児童が目標を設定し、目標に沿った振り返りを行う項目があり、既習の英語表現を使って主体的な言語活動ができるよう工夫されている。(3) 単元の導入部分の語彙が充実していて、多彩な活動が展開でき、児童の興味・関心を引き出すよう工夫されている。(4) 聞くことの活動で学んだ英語表現を使って、5領域それぞれの言語活動へつなげられるよう、学習活動が精選されている。(5) 絵や挿絵は、英語表現や会話、単元の学習活動の見通しをもち、絵の辞典として活用できるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none">(1) Hop で扱う2～3単元のねらいや各単元の内容、Jump で扱う場面設定が系統的であり、5領域の目的と内容に適している。(2) 児童の目的に合った英語表現を使って「話すこと」の活動が行えるように、多くの語彙に触れたり、それらを使った表現を実際の場面で使ったりする学習活動ができるよう配慮されている。(3) 伝える方法や英語表現を児童の習熟や目的に応じて選択し、考えながら学習することで、主体的な言語活動となるよう配慮されている。(4) 単元のまとめりごとの場面設定が明確で、既習表現を選んでコミュニケーションに取り組むことができるよう配慮されている。(5) 挿絵や写真は英語表現を推測できるように関連付けられており、学習活動の見通しがもてるよう工夫されている。(6) Jump で振り返ったことを、Jump 2 で改善し、まとめと振り返りが二段階で行うことができるとともに、巻末の CAN-DO リストで各観点の自己評価が行えるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">単元の構成が、5年生では自分のことや他者のこと、6年生では学校のことや地域、日本の文化のことなど、発達段階に応じた場面設定になるよう工夫されている。単元のまとめりが児童の発達や興味・関心に即した言語活動に配慮されており、関連性のある段階的な指導ができるよう配慮されている。

(種目：外国語)

採択基準	発行者名 教育出版 (ONE WORLD Smiles)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 「聞く」活動から徐々に「話す・書く」活動へとつながっており、5領域をバランスよく学習できるように配慮されている。・ 単元のはじめに目標を確認し、単元末の振り返りで3つの観点で自己評価できるようになっており、見通しを持って主体的に学べるように工夫されている。・ 学校生活に合った活動やテーマを多く扱っており、他教科で学んだ内容を英語学習に生かせるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 他教科で学んだ知識や経験を活用して、表現すること（「読む」「書く」）への負担感が減るように工夫されている。(2) 必要感が感じられる活動が設定され、単元末の振り返りで達成度を確認でき、学習意欲が高まるように配慮されている。(3) 地図や写真などとともに学校生活に合った活動やテーマが多く取り入れられている。(4) 既習事項を活用して、「聞く」活動から徐々に「話す・書く」活動に移行し、5領域を関連付けて学習できる配慮がされている。(5) 写真、図表、地図などが鮮明でわかりやすく配置されており、「やりとり」や「発表」の様子が分かりやすいイラストで表現され、理解や表現を助けるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 「We can!」を基に、語彙、表現、単元が構成され、基礎から発展的な学習へと系統的な指導ができるように配慮されている。(2) 「Let's Think」では言語や文化、コミュニケーションなどについて気づきや思考を促し、児童の思考力、判断力、表現力を高めるよう工夫されている。(3) ペアやグループで取り組む活動を通して、自尊感情・他者理解を深め、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。(4) 6年後半の単元末では、学んできた表現を活用して小学校生活をふりかえったり、中学校への期待感を高めたりしながら、文構造への意識を段階的に高めるように配慮されている。(5) 言語活動を行う際に使える、絵カード、ワークシート、シールなどが用意されており、表現意欲を高めるように工夫されている。(6) それぞれの単元末で自己評価できるように構成されており、年間を通じて「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を意識しながら学ぶことができるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ 単元の目標が明示され、必然性のある活動や「ふりかえり表」を通して、児童が学習の見通しを持って主体的に学べるように工夫されている。・ 6年生の最後には、児童が身に付けた力についてまとめる活動があり、自己の高まりを実感することができるよう配慮されている。

(種目：外国語)

発行者名 採択基準	光村図書 (Here We Go!)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ まずはじめに聞く活動があり、徐々に話す活動、書く活動、読む活動へと学習が進み、基礎的な技能が段階的に身につくよう配慮されている。・ コミュニケーションの目的や場面・状況が明確であり、単元の学習内容を活用する言語活動が位置づけられている。・ 映像で異文化にふれたり、ペアやグループで友と関わりながら活動したりすることで、学習の意欲が高まるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 簡単な表現から難しい表現へと徐々に移行しながら学習が進むよう配慮されている。(2) 単元末には、学習した言語材料を使って、互いの考えや気持ちを伝え合うなどの単元をまとめる活動と、自分の学習をふり返る活動が展開されるよう配慮されている。(3) 他教科で学んだ経験や知識を生かせる活動が設定され、児童の学習意欲が高まり、活動内容が深まるよう工夫されている。(4) 各単元は、「Hop」で聞く活動を、「Step」では聞く、話す、書く活動を通して表現に慣れ親しみ、「Jump」ではそれまでの学習をふまえて4技能に関連する活動ができるよう配慮されている。(5) やり取りや発表の仕方が、鮮明なさし絵や写真で示されており、児童の活動を助けるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 文部科学省の教材をベースに単元が配列されており、平易なものからステップを踏んで難度が上がるように設計されている。(2) 各単元では、「Hop」でストーリー映像を手がかりに英語の使用場面や状況・話題を理解し、「Hop」と「Step」で学習する表現に気づき、その表現に慣れる練習が行えるよう工夫されている。(3) 単元の途中では友達との簡単なやり取り、単元の終末にはその単元で学習した言語材料を用いて、話すこと（やり取りや発表）が位置づけられ、知識・技能が習得できるよう配慮されている。(4) コミュニケーションの目的や場面・状況が明確に示されており、目的を達成するために自分ならどう表現するかを考えて言語活動を行うことができるよう配慮されている。(5) ねらいが達成された様子や、発表で使う資料等が写真で示され、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(6) 単元冒頭には、単元全体の目標と単元内での段階的な小目標が示され、見通しを持って指導できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ 単元は、それぞれ見開きで「Hop」「Step1」「Step2」「Jump」の順で展開し、スモールステップを踏んで4技能が身につけられるよう配慮されている。・ 単元の学習と関連してアルファベットの読み書きの学習が定期的に配置され、アルファベットの形や名称、音を認識し、徐々に書くことができるよう配慮されている。

(種目：外国語)

発行者名 採択基準	啓林館 (Blue Sky)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 全単元で、4技能5領域がバランス良く位置付けられ、基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。・ 言語活動の目的や場面、状況が明確で、既習事項を使って児童が自分の考えや気持ちを伝える活動ができるよう配慮されている。・ 異文化理解や音声の違いへの気付き、場面や状況に応じた活動が段階的に導入され、自分の考えや気持ちを抵抗感なく表現できるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 各パートのめあてを達成しながらスモールステップで学習を進め、単元の目標が到達できるよう学習過程が配慮されている。(2) 単元末には、考えを伝え合ったり発表したり書いたりする活動が設定されており、表現活動に必要な語句は Word List から選択できるよう工夫されている。(3) 慣れ親しんだ表現を用いて、自分に重ねて考えたり伝えたりする活動があり、児童の主体的な学びを促すよう工夫されている。(4) チャンツに文字とアクセントが表記されている。繰り返し聞き、発話する音声中心の活動や、アルファベットの復習や書く活動など、5領域を関連づけた学習となるよう配慮されている。(5) 語句や英語表現の意味が推測できるような写真やさし絵があり児童の関心を高め、理解を助けるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 1単元3パートで構成され、見開き1ページを2時間で扱う基本的な流れである。単語や表現を確認する基礎的内容から既習事項を生かした発展的な内容へと学びが進むよう工夫されている。(2) 単元の最初のページには、Small Talk に使える素材が示され、既習事項を使って単元導入に適した即興的なやり取りができる。(3) 相手を意識して英語を使う必然性のある場面設定がされている。短時間で終わり繰り返しの学習に適している活動にモジュールマークを付け、短時間学習でも扱えるよう配慮されている。(4) 年間3回の「REVIEW」では、思考力、判断力、表現力等を働かせる活動を行うことで、コミュニケーション能力の育成が見込まれるよう配慮されている。(5) ページの英語表記、語句の意味や表現を無理なく習得できるようさし絵や語句の英語表現が明確に提示されている。(6) 単元学習後の自己評価の記述による振り返りから、児童の「学びに向かう力」を把握することができる。Can-Do List では、年間の4技能5領域の到達度を自身で確認することができる。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ 各パートが見開き1ページで分かりやすく構成されており、各パートで4技能に関わる活動が位置付いている。・ 自己評価で児童が学習意欲を喚起し、場面状況や他者を意識した必要感のあるコミュニケーション活動を通して、児童の「学びに向かう力」を高められよう配慮されている。